

妊娠期や子育ての悩み
気軽に相談ください

問 こども家庭サポートセンター

☎775・7902

「妊娠したけれど、ちゃんと育てられるかな。赤ちゃんが泣いてばかりいる、自分の睡眠がとれない、疲れてイライラする。子どもへの接し方はこれでいいの?」

不安や困りごとの多い妊娠期や子育て期。こども家庭サポートセンターは、妊娠期から子育て(0歳~18歳)のさまざまな悩みの質問や相談の窓口です。

母子健康手帳の交付、相談の内容に応じた制度やサービスの紹介、関係する機関と連携して子どもと家庭のサポートをします。DVの相談も受け付けています。



いちはやく
189「だれか」じゃなくて
「あなた」から
11月は児童虐待防止推進月間

問 児童相談所全国共通ダイヤル

☎189 (夜間・休日も対応)

こども家庭サポートセンター

☎775・7902

南魚沼児童相談所

☎770・2400

児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。児童虐待かも?と思ったらすぐにご連絡ください。あなたの電話で救われる子どもがいます。連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

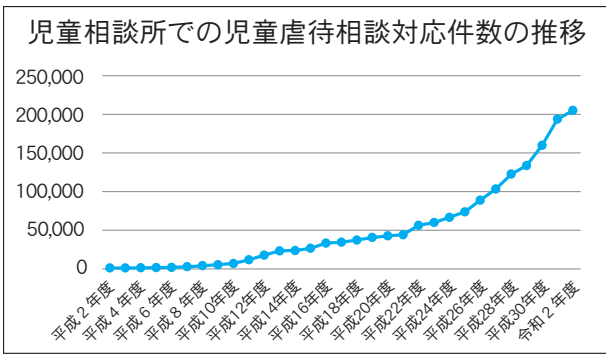


愛の鞭^{むち}ゼロ作戦

「しつけ」が行き過ぎると虐待に当たることがあります。しつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けになりません。

体罰・暴言は子どもの脳の発達にさまざまな影響を及ぼすことが最近の研究で報告されています。体罰や暴言による「愛の鞭」は捨てましょう。そして、子どもの気持ちに寄り添いながら、みんなで前向きに育んでいきましょう。

子どもが言う事を聞かないなど、イライラすることはだれにでもあります。そんな時は、一人で悩まずにご相談ください。



※令和2年度中に全国の児童相談所が児童虐待相談として対応した件数は205,029件(速報値)で、過去最多(厚生労働省ウェブサイトより)

スポーツ



市民限定レンタサイクルサービス「Sapochari(サポチャリ)」を11月14日まで実施しています

問 大原運動公園(株)ベースポールマガジン社

☎783・3533

市民の健康づくりに自転車を活用してサポートする、市民限定のレンタサイクルサービスを今年の7月にスタートし、11月14日(日)まで実施しています。今年度は、市内在住の18歳以上の女性(高校生を除く)を対象にモニターを募集して、試験的に事業を実施しています。

最新の電動アシスト付き自転車を用意しています。秋の健康づくりに、お気軽にご利用ください。

費1回200円(保険料)

※ヘルメットの貸し出しは無料

申 大原運動公園か、ディスプレイ南魚沼の窓口でお申し込みください。

※公式LINEから申し込みもできます。次のQRコードから友達追加を行い、登録手続きを進めてください

